

NTT-ATの5つのビジョン。



## 【代理店限定】Ver.7.0.2 リリースノート

2020年03月17日

NTTアドバンステクノロジー株式会社



WinActor Ver.7.0.2 は、互換性・安定性が向上しています。

また、多くのご要望を頂いた、

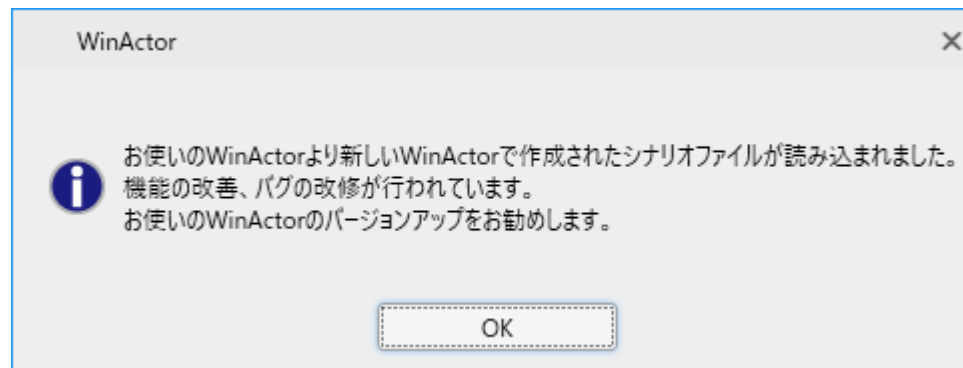
- 起動時の.NET Frameworkのバージョンチェック
  - 実行中のプロパティの表示方針の変更
- を行っています。

# Ver.7.0.1で作成したシナリオファイルの利用



WinActor Ver.7.0.1 で保存したシナリオファイルを Ver.7.0.2で利用される場合、特に作業は必要ありません。そのまま、シナリオファイルの編集・実行が可能です。

WinActor Ver.7.0.2で保存したシナリオファイルを Ver.7.0.1で利用される場合、シナリオを開く際に次のダイアログが表示されます。



Ver.7.0.1 のままでも、シナリオファイルの編集、および、実行は可能ですが、安定実行のため WinActor Ver.7.0.2 へのバージョンアップをお願いします。



## Ver.7.0.1における次の制約について改善を行いました

1. 部分実行時に変数の値を取得すると常に初期値となっていた
2. Ver.5またはVer.6で作成されたIE6関係のノードを含むシナリオファイルが開けなかった
3. Ver.5またはVer.6で作成されたエミュレーションの操作に「不明なキー」を含むシナリオファイルが開けなかった
4. グループからサブルーチン化を行って作成したサブルーチンを含むシナリオファイルが開けなかった
5. コピーして作成されたサブルーチンを含むシナリオファイルが開けなかった
6. 起動時にFLAとの初回通信に失敗し、ライセンスが取得できない場合があった
7. 起動オプション"-t"、"-r"を同時に指定した場合にWinActorを操作できなくなっていた
8. フローティング状態のウィンドウを閉じるとWinActorが操作不能になる場合があった
9. スクリプト実行ノードにて変数名を設定できる項目に読込専用の特殊変数を設定するとエラーになっていた
10. 変数値コピーノードにて、コピー元、および、コピー先に特殊変数を設定しても値のコピーが行われなかった
11. 「JSON書き込み」のファイル指定のダイアログにて新規のファイルが指定できなかった
12. %変数%で変数値の展開ができていない設定項目があった
13. 起動ショートカット作成にてVBS形式で作成したショートカットから起動できない場合があった
14. 「文字列の連結」にて非常に長い文字列の連結を試みるとシナリオ実行が停止することがあった



15. Ver.5またはVer.6からのライセンスコピー時に、コピー対象のライセンスに何も表示されない場合があった
16. 画像マッチングノードにて、マッチング画像ファイルに設定した拡張子によりエラーとなる場合があった
17. 管理者権限にて「JPath取得」ツールの起動に失敗する場合があった
18. エミュレーションにて、キーの長押しでキーダウンが複数登録されていた
19. 別名にてシナリオファイルを保存する際に、既に関いているファイルと同じファイル名を指定すると不測のエラーとなっていた
20. 「文字列設定(IE)」等にて、使用しない設定項目に対してもエラーが表示されていた
21. イメージ管理画面にて、画像の塗りつぶしを行うと選択範囲からずれた領域が塗りつぶされていた
22. シナリオのメインタブ以外でフローティング状態のプロパティ画面を表示させるとメインタブが表示されていた
23. データ一覧で指定したExcelファイルを実行途中で閉じた場合の挙動がVer.6と異なっていた
24. フローティング状態でユーザのキーボード操作が有効にならない場合があった
25. 変数の初期値を設定すると機能編集エリアで閉じていたウィンドウが開いてしまった
26. メールの送信日時が正しく表示されない場合があった
27. Ver.6で作成されたシナリオ中のメール受信設定ノードの「次の拡張子の添付ファイルは保存しない」の設定がVer.7で読み込めていなかった



- 28. WinActor終了時に.bakファイルが削除されていた
- 29. 四則演算ノードおよびカウントアップノードにて全角数字が扱えていなかった
- 30. 文字列送信ノードにて送信文字列を%変数%で指定した場合、送信結果の検証に失敗していた
- 31. シナリオファイルを保存し、開きなおすとノードの位置が配置時と変わっている場合があった
- 32. 記録/操作対象アプリケーションを操作する権限がWinActorにない場合にエラーが表示されていなかった
- 33. スクリプト実行ノードにて、WindowPosクラスの一部の処理が正常に動作しない場合があった
- 34. スクリプト実行ノードにて、ScenarioGotoクラスの一部の処理が正常に動作しない場合があった
- 35. 「表の値取得」の自動生成時に作成される変数名が誤っていた
- 36. フル機能ライセンス下の管理実行モードにて、シナリオ停止ノードにより実行が停止した状態でノードが動かせていた
- 37. ウィンドウ識別ルール画面にて、同時に複数のウィンドウ識別ルールが選択できなかった
- 38. 管理機能へ通知する出力パラメータの値にNULL文字が含まれているとエラーとなっていた
- 39. シナリオの実行後にタブの状態が実行前の状態に戻らない場合があった
- 40. 製品IDファイルがBOM付きUTF-8となっていた(Ver.6と同じBOMなしUTF-8へ修正)



以下の変更を行っています。

- 起動時に.NET Framework のバージョンチェックを行い、.NET Framework 4.8がインストールされていない場合、警告ダイアログを表示するようにしました。  
警告ダイアログが表示された場合には、.NET Framework 4.8のインストールをお願いします。
- シナリオの実行時、実行中のノードのプロパティ画面を表示していましたが、実行開始時にプロパティ画面が表示されていない場合は、実行中のプロパティ画面を表示しないように変更しました。



マニュアルについて以下の変更を行っています。

- インストールマニュアル
  - Ver.5またはVer.6のインストール先のフォルダに上書きインストールを行わないよう注意書きを追記しました。
  - 標準ユーザ用インストーラの場合、WinActorの初回起動時に使用許諾契約書が表示されることを追記しました。
- 操作マニュアル
  - フル機能版のみの機能について「FULL」を追加しました。
  - 5.4.7 ループ実行の注意事項にエラーになる場合とならない場合の追記を行いました。

また、画面キャプチャの最新化、および、誤字の修正を行っています。





マニュアルについて以下の変更を行っています。

- サーバ接続設定カスタマイズ説明書
  - 不要となりましたreg.iniの記載を削除しました。
  - licSetting.iniが反映されない場合の対処方法について追記しました。

また、画面キャプチャの最新化、および、誤字の修正を行っています。



- Ver.5およびVer.6の標準ユーザ用インストーラでインストーラされているWinActorで用いていたreg.iniファイルを廃止しました。ユーザのレジストリ領域にライセンス情報や設定情報を設定し、ファイルを紛失してもライセンス情報や設定情報が保持されるようになりました。
  - HTTPノードにて、Ver.6では応答ステータスが200/201の時のみ応答ボディが取得されていましたが、Ver.7では、応答ステータスに関わらず応答ボディが取得されるようになっています。
- これらは Ver.7.0.2 でも同じ動作となります。

# Ver.7.0.1 から引き続き残る制約



以下に関しては、Ver.7.1にて対応予定です。

- WinActorノート
- Cloud Library
- Ver.6.3の新機能
- フローチャートの全体表示を行う機能



以下の制約については次版以降での対応を検討しています。

- 同梱ライブラリ「Outlookメーラ起動」で起動したOutlookが操作できないことがあります。  
(Outlook起動後にウィンドウフォーカスの変更を行うことにより改善されます)
- DBへ書込む日付のタイムゾーンについて、DB接続時のタイムゾーンの設定が反映されます。
- IE操作系のノードの実行について、一部の環境ではVer.6よりも実行速度が遅くなる場合があります。
- ログ管理画面の表示について、ログが大量に出力されている状態で表示を試みると数秒時間がかかることがあります。
- WinActorがメモリ不足で終了することがあります。  
(シナリオ実行モードでシナリオファイルをロードすることにより、メモリ使用量の削減を行うことができます)
- 起動時に表示されるダイアログがWinActorのウィンドウの裏に隠れてしまう場合があります。
- 特殊変数\$THROW\_USER\_EXCEPTIONに、変数値設定ノードおよび変数値コピーノードで値を設定しても例外が発生しません。
- 真偽値の表記が”True” / “False” となっている (Ver.6では “true” / “false”) 特殊変数があります。
- Excelによるデータ一覧の最終行の処理中に、Excelを閉じてシナリオGOTOをした時の挙動がVer.6と異なっています。
- 表示倍率が100%以外の場合にキャプチャした画像がぼやけています。
- CSVおよびログファイルについて、エンコーディングにUTF-8を指定するとVer.6と異なりBOM付きUTF-8が出力されています。



# WinActor Ver.7.0.2リリースノート

NTTアドバンステクノロジー株式会社

Copyright(c) 2013-2020 NTT Corp. & NTT Advanced Technology Corp. All Rights Reserved.

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部を無断で複写、複製することは禁じられています。  
本書の内容は予告なく変更される場合があります。

64-G-0312

未 来 を 拓 く チ カ ラ と 技 術。

